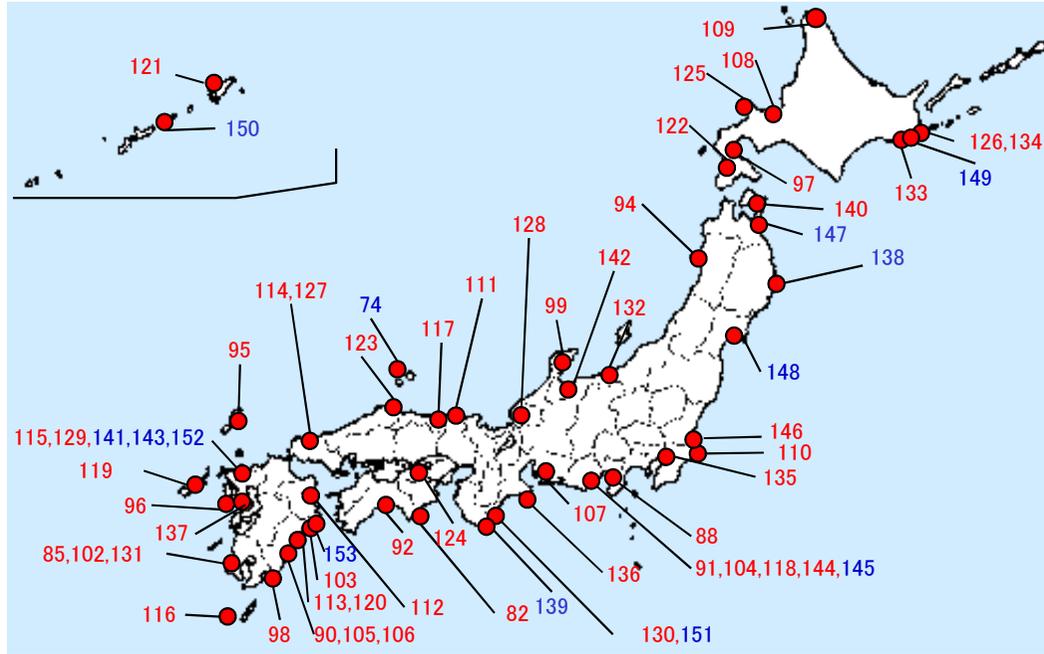


漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —実証事業中・実証予定の計画— (平成29年6月20日現在)



- 74 隠岐(中まき): 燃油消費量の削減、適量漁獲と活〆処理等<改革型>
 - 82 近海まぐろ延縄(高知②): 省エネ、新型魚倉、深縄、漁場変更<28.5~ 改革型>
 - 85 遠洋まぐろ延縄(いちき串木野②): 解凍硬直防止技術の確立、地元販売等<26.8~ 改革型>
 - 88 静岡県旋網(中まき): ミニ船団化、小型化、活魚生産等<26.8~ 改革型>
 - 90 近海まぐろ延縄(日南・南郷): 省人、小型化、漁場変更、活魚操作等<26.8~ 改革型>
 - 91 海外まき網(海まき): インド洋・太平洋の併用操業、2隻の連携、大型化等<27.4~ 改革型>
 - 92 御置瀬(沖底): 小型化、省人化、直まき方式の採用等<28.9~ 改革型>
 - 94 秋田(定置): 流木予防網、大型クラゲ対策網、高価格魚種選択漁獲網の導入等<27.3~ 改革型>
 - 95 対馬市(小型いか釣り): 船凍品製造、LED集魚灯等<28.8~ 改革型>
 - 96 遠旋組合④(大中まき): 船団縮小(5隻→4隻)、主機関共通化等<27.4~ 改革型>
 - 97 八雲町ホタテガイ養殖: 3年貝主体の生産構造への移行、養殖作業の共同化等<26.12~ 改革型>
 - 98 鹿兒島定置: 網の保守管理作業の軽減、漁獲物の販売方法の改善等<27.8~ 改革型>
 - 99 熊野(定置): 1ヶ統→合理的2ヶ統操業、改革型金庫網、柔軟な出荷戦略等<27.9~ 改革型>
 - 102 串木野遠洋まぐろ延縄: 経営体統合、既存船の大規模リニューアル<27.9~ 改革型、27.10~ マイルト>
 - 103 延岡(定置): 両落とし式定置網導入、活魚出荷等販路拡大<27.10~ 改革型>
 - 104 小川(さば棒受網): まき餌コスト削減、99トン型鋼船の導入、活魚・活〆処理等<28.3~ 改革型>
 - 105 近海かつお一本釣り(日南・南郷②): 操業海域変更、海水氷製造機の搭載等<27.7~ 改革型>
 - 106 近海かつお一本釣り(日南・南郷③): 操業海域変更、低温活魚装置の搭載等<28.2~ 改革型>
 - 107 蒲郡(沖底): 操業体制の見直しによる省人化、アカザエビ活魚化等<27.9~ 改革型>
 - 108 北海道機船(小樽②)(沖底): LLPによる効率的な操業、省人化、漁具共有化等<27.4~ 多角化>
 - 109 北海道機船(稚内②)(沖底): 操業対策委員会による操業、箱詰め割合向上等<27.4~ 多角化>
 - 110 鯖子(沖底③): ハイブリッド型漁船での操業、殺菌水生成装置導入等<28.9~ 改革型>
 - 111 香住(沖底): 巻き返しによる漁具費削減、船上冷凍設備の導入等<27.9~ 改革型>
 - 112 大分県(中まき): フィッシュポンプの網船への搭載、小型魚の蓄養等<27.11~ 改革型>
- (全体計画)
- 57 遠洋まぐろ延縄(全体計画): 燃油使用量の削減、漁獲物の品質向上等

- 113 川南(沿岸まぐろ延縄): 新たな経営体の確保、漁船の小型化等<28.4~ 改革型(沿岸漁業版)>
- 114 山口外海(パイ篋): パイ篋専業船の導入による船上作業の効率化等<28.7~ 改革型>
- 115 遠旋組合⑤(大中まき): 改革型漁船導入による船団縮小等<28.5~ 改革型>
- 116 屋久島(瀬物一本釣り): 操業協業化による効率化等<28.6~ 改革型(沿岸漁業版)>
- 117 網代港②(沖底): 船上加工による6次産業化<28.9~ 改革型>
- 118 遠洋かつお一本釣り(焼津・御前崎): 599トン船で省コスト操業、活〆脱血製造等<27.12~ 改革型>
- 119 五島定置: 仕切網による操業効率の向上と魚価向上<28.4~ 改革型>
- 120 近海まぐろ延縄(日向): メカジキトラップによる対象魚種の多様化、操業海域変更<28.4~ 改革型>
- 121 名瀬沿岸かつお一本釣り: 船団縮小、省エネ漁船導入によるコスト削減等<28.8~ 改革型>
- 122 ひやま(いか釣り): 新型漁撈機器の導入、高鮮度出荷、いか釣り専業化等<28.5~ 多角化>
- 123 境港(べにずわいがに): 冷蔵機能魚倉、冷却水槽による高鮮度化、規格化等<29.4~ 改革型>
- 124 香川(海面ニジマス養殖): プリ養殖休漁期を活用したニジマス養殖、ブランド化等<28.1~ 改革型>
- 125 古宇郡(ホタテガイ養殖): 養殖施設を9基→33基に増設し生産体制の強化、販路拡大等<28.6~ 多角化>
- 126 根室湾中部(小型いか釣り): 1人乗り操業による高品質品生産、LED集魚灯導入等<28.8~ 改革型>
- 127 山口外海(定置): 未利用漁場活用による生産力向上、村張りから法人化による経営体制強化等<28.11~ 改革型>
- 128 福井(定置): 出荷・販売ルートを開発による収益性向上等<29.3~ 改革型>
- 129 遠旋組合⑥(大中まき): 活魚輸送・畜養いけすによる漁獲物の有効利用、船団縮小等<29.1~ 改革型>
- 130 遠洋かつお一本釣り(尾鷲): 499トン船で省コスト操業、活魚イワシ生存率向上等<29.3~ 改革型>
- 131 枕崎(遠洋かつお一本釣り): 冷海水によるブライン艦の安定供給、省エネ船型導入等<29.3~ 改革型>
- 132 上越(小底): 2人体制のニギスに特化した操業モデル確立、僚船との協業化、選別機導入等<29.4~ 改革型(沿岸漁業版)>
- 133 厚岸(さば・いわし棒受網): 漁場探索の協業化、自動まき餌機導入による省人化等<28.5~ 多角化>
- 134 根室(さば・いわし棒受網): 漁場探索の協業化、自動まき餌機導入による省人化等<28.5~ 多角化>
- 135 全国さんま棒受網(公海さんま棒受網): 船上凍結製品の生産、ロシア加工船への洋上売魚等<28.5~ 多角化>
- 136 三重県真珠養殖(真珠養殖): 低塩分養成技術の導入、作業船の共同化等<28.6~ 改革型>
- 137 長崎以西底曳(以西底びき網): 新型網導入による省エネ、キダいの販路拡大等<28.10~ マイルト>
- 138 宮古・釜石(沖底): 省エネ型漁船の導入、トロールセンサーシステム導入等による省コスト化<改革型>
- 139 太地町(大型定置): 省エネ・省力型漁撈機器搭載の改革型漁船の導入等による省コスト化<改革型>
- 140 青森県大畑(小型定置): 改良型網の導入、省エネ型漁船の導入等による生産性の向上<28.11~ 改革型>
- 141 遠旋組合⑦(大中まき): 改革型運搬船による養殖用種苗の洋上販売、船団縮小等<改革型>
- 142 とよま市(大型定置): 改革型マント網の導入、ホタルイカの高付加価値化、旧網利用による操業期間延長<28.12~ 改革型>
- 143 遠旋組合⑧(大中まき): 改革型運搬船の導入、フィッシュポンプの活用、氷使用量の削減、船団縮小等<改革型>
- 144 海外まき網(海まき②): VDの高度利用、共同運搬船の活用<28.10~ マイルト>
- 145 遠洋かつお一本釣り(焼津③): S-1カツオの増産、499トン型基本船型の開発・導入<改革型>
- 146 神栖市沿岸漁業(小底): 改革型漁船の導入、消費地市場への自家出荷等<29.3~ 改革型(沿岸漁業版)>
- 147 遠洋まぐろ延縄(八戸): プーム式荷役装置を搭載した改革型漁船の導入、転載による効率化等<改革型>
- 148 遠洋かつお一本釣り(塩釜): 改革型漁船の導入、新製品の生産、タスマン漁場の再開発等<改革型>
- 149 全国さんま棒受網(落石): 省エネ・省コスト型漁船の導入、フィッシュポンプによる省人化等<改革型>
- 150 与論(ソデイカ旗流し): 改革型漁船の導入、ソデイカ下足の高鮮度出荷、ブランド化等<改革型>
- 151 尾鷲(定置): 改革型漁船及び改革型漁網の導入、一艘起こしへの操業転換及び網交換作業の効率化等<改革型>
- 152 遠旋組合⑨(大中まき): 改革型漁船の導入、船団縮小(5隻→4隻)、運搬船の共同利用等<改革型>
- 153 北浦(中まき②): 改革型網船の導入、船団縮小(5隻→4隻)、網船冷海水魚槽による鮮度保持等<改革型>

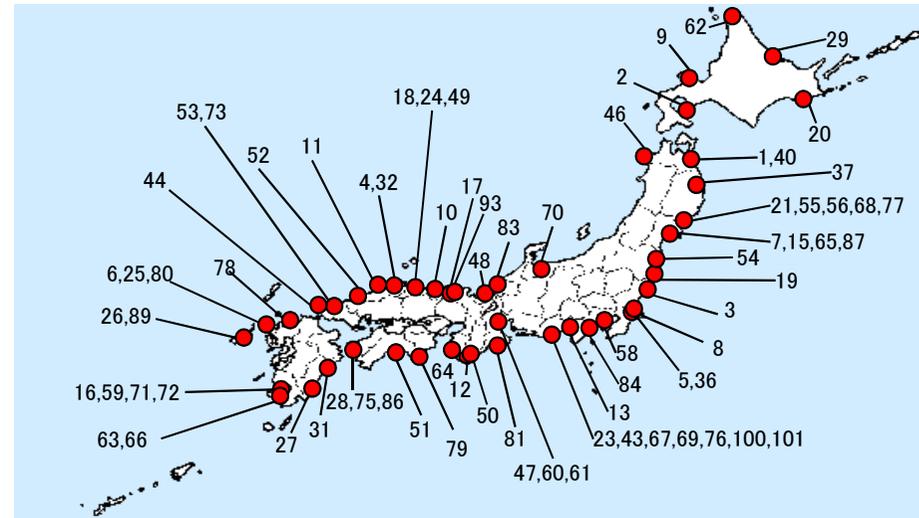
認定改革計画 153件: 実証事業中 53件(全体計画1件含む)、実証予定 13件、
実証事業終了 87件(がんばる漁業への移行11件含む)

(注1)赤数字:実証中の計画、青数字:実証予定の計画 (注2)計画名は、地域プロジェクト名及び漁業種類の一部を省略して記載

漁業構造改革プロジェクト進捗状況 —実証事業を終了した計画— (平成29年6月20日現在)

- 1 八戸(大中まき)：船団縮小(4隻→2隻)<20.4～23.3 改革型>
- 2 北海道機船(室蘭)(沖底)：省コスト共通船型、操業協同化<20.9～21.8・21.9～24.8 改革型>
- 3 大津(大中まき)：船団縮小(4隻→3隻)<20.10～23.9 改革型>
- 4 賀露(沖底)：省エネ船型導入<20.9～23.8 改革型>
- 5 鏡子(沖底)：小型化(74トン→19トン)、協業化<20.6～23.5 改革型>
- 6 遠旋組合①(大中まき)：船団縮小(5隻→4隻)<21.1～24.1 改革型>
- 7 石巻(大中まき)：単船化、省エネ省コスト化<21.8～24.7 改革型>
- 8 波崎(大中まき)：船団縮小(4隻→2隻)<21.8～24.7 改革型>〔自己負担等により実施〕
- 9 小樽(沖底)：生産体制の合理化<22.2～25.1 改革型>
- 10 香住(べにずわいがに)：常設活魚艙導入<20.9～23.8 改革型>
- 11 境港(べにずわいがに)：省エネ省コスト、高鮮度保持<21.9～24.8 改革型>
- 12 紀伊水道(中まき)：船団縮小(9隻→7隻)<21.7～23.6 マイルド>
- 13 静岡(大中まき)：船団縮小(6隻→5隻)<23.1～25.1 改革型>
- 15 塩釜(遠洋底びき)：新規漁場(インドネシア)開発<21.8～22.2 マイルド>〔中止〕
- 16 山川(海まき)：海外漁場(パプアニューギニア)の確保<21.11～23.11 マイルド>
- 17 柴山(沖底)：耐候性漁船、高品質水揚げ<21.9～24.8・22.9～25.8 改革型>
- 18 浜坂(沖底)：小型化(90トン→65トン)、省人化<21.9～24.8 改革型>
- 19 小名浜(大中まき)：船団縮小(2ヶ統8隻→2ヶ統7隻)<21.10～23.11 マイルド>
- 20 北海道機船(釧路)(沖底)：船内1次加工等による高付加価値化 <22.9～25.8 改革型>
- 21 気仙沼(近海まぐる延縄)：省エネ省コスト、高鮮度保持<22.8～25.8・22.10～25.10 改革型>
- 23 遠洋かつお一本釣り(焼津)：省エネ省コスト、高付加価値化<22.9～24.8 マイルド>
- 24 網代港(沖底)：省エネ、高鮮度保持<23.4～26.3 改革型>
- 25 遠旋組合②(大中まき)：2船団グループ操業化<23.4～26.3 改革型>
- 26 五島(中まき)：5船団でトータルコストの削減<23.4～26.3 改革型、22.6～24.5 マイルド>
- 27 近海かつお一本釣り(日南)：小型化(70トン→19トン)<23.4～26.3 改革型>
- 28 愛媛(真珠養殖)：越物真珠生産<22.11～25.3 改革型>
- 29 紋別(小底)：省エネ化、衛生管理<23.3～26.2 改革型>
- 31 北浦(中まき①)：6船団共同操業・共同運搬化<23.4～26.3 改革型、23.4～25.3 マイルド>
- 32 賀露(沖底)：省エネ、船凍出荷<23.9～26.8 改革型>
- 36 鏡子(沖底②)：小型化(74トン→19トン)、船首ブリッジ導入<24.6～27.5 改革型>
- 37 遠洋まぐる延縄(宮古)：省エネ、脱血処理の徹底による付加価値向上<24.5～27.4 改革型>
- 40 八戸(小底)：コスト削減、鮮度向上<27.3 改革型>〔取り下げ〕
- 43 遠洋まぐる延縄(焼津①)：省エネ、流通改善<24.4～26.3 マイルド>
- 44 下関(沖底)：小型化(75トン→69トン)、付加価値向上<24.4～27.3 改革型>
- 46 深浦(沖底)：省エネ・小型化(50トン→19トン)、衛生管理・付加価値向上等<25.9～28.8 改革型>
- 47 三重外湾(中まき)：船団縮小(6隻→4隻)、ウォーターバッグによる活魚輸送等<25.1～28.1 改革型>
- 48 舞鶴(定置)：操業体制の再編、省人・省力化、活魚率向上等<25.1～28.1 改革型>
- 49 網代港(定置)：省力化、活魚率・鮮度向上、大目合網の導入等<24.4～27.3 改革型>
- 50 遠洋まぐる延縄(尾鷲)：小型化・省エネ、アルコールスラリー・アイス導入<24.6～27.5 改革型>
- 51 遠洋まぐる延縄(高知)：既存船の省燃費型への改修、船上加工<24.4～26.3 マイルド>
- 52 浜田(沖底)：リシップ等による省エネ、高鮮度化・活魚販売促進<25.4～27.3 マイルド>
- 53 萩(小型いか釣り)：共同探索・運搬等による操業の効率化<24.6～26.5 マイルド>
- 54 遠洋まぐる延縄(いわき)：省エネ、漁獲物処理の迅速化<25.7～28.6 改革型>
- 55 遠洋まぐる延縄(気仙沼②)：省エネ、EU衛生基準に対応した設備<25.7～28.6 改革型>
- 56 遠洋まぐる延縄(気仙沼③)：導入省エネ、高付加価値化<25.3～28.2 改革型>
- 58 遠洋まぐる延縄(三崎)：船型の小型化、超深縄漁法の導入<25.8～28.7 改革型>
- 59 遠洋まぐる延縄(いちき串木野)：省エネ、次世代型冷凍システムの導入<25.9～28.8 改革型>
- 60 遠洋まぐる延縄(伊勢)：省エネ・省コスト型漁船、浅縄操業の導入<26.2～29.1 改革型>
- 61 遠洋まぐる延縄(南伊勢)：針数削減等による効率的操業の導入<25.4～27.3 マイルド>
- 62 北海道機船(稚内)(沖底)：省エネ型漁船、活魚脱血処理等による高付加価値化<25.10～28.10 改革型>

- 63 枕崎(遠洋かつお一本釣り)：節節向けライン・鯉生産、燃油費削減<25.3～26.3 マイルド>
- 64 紀伊水道(中まき)：2艘まきから1艘まきへの転換、船団縮小(9隻→7隻)<26.2～29.2 改革型>
- 65 北まき・石巻(大中まき/海まき)：単船操業、水揚数量の大幅縮減<26.4～29.3 改革型>
- 66 枕崎(海まき)：合併事業、ブイライン操業、大目網の導入<25.3～27.2 マイルド>
- 67 遠洋まぐる延縄(焼津②)：冷気自然循環システムの採用、燃油使用量の削減<26.3～29.2 改革型>
- 68 遠洋まぐる延縄(気仙沼④)：バトックフロー船型、省エネ航行、高品質化<26.5～29.4 改革型>
- 69 遠洋かつお一本釣り(焼津②)：B-1製品の製造、燃油削減<25.3～27.3 マイルド>
- 70 全国遠洋まぐる(富山)：操業・航海の短縮、燃油削減、付加価値向上<26.4～29.3 改革型>
- 71 鹿児島(カンパチ養殖)：国産人工種苗、飼料のEP化、作業共同化<25.4～28.8 改革型>
- 72 鹿児島(ブリ養殖)：国産人工種苗、2年魚出荷、共同作業船<25.3～27.7 改革型>
- 73 山口外海(定置)：新型網の導入、目合い拡大、鮮度保持・出荷調整等<25.12～28.11 改革型>
- 75 宇和島(中小まき)：船団縮小(5隻→4隻)、生産コストの削減、活魚化率の向上<26.4～29.3 改革型>
- 76 遠洋まぐる延縄(焼津②)：メバチ・キハダロイン加工、ピンナガドレス加工等<25.10～27.9 マイルド>
- 77 遠洋まぐる延縄(気仙沼⑤)：主機駆動発電システム、気仙沼全量水揚げ等<26.4～29.3 改革型>
- 78 佐賀玄海(小型いか釣り)：ケンサキイカ活魚化1隻、船凍品製造1隻等<26.6～29.5 改革型>
- 79 近海まぐる延縄(高知)：省エネ、高鮮度、漁場変更(中近海→南方)<25.10～27.9 マイルド>
- 80 遠旋組合③(大中まき)：船団縮小(5隻→4隻)、2層甲板、ブライン凍結<26.4～29.3 改革型>
- 81 三重外湾(大中まき)：船団縮小(6隻→4.5隻)、活魚、窒素ナノバブル高鮮度化<26.5～29.4 改革型>
- 83 福井(沖底)：省エネ、揚網方法の改善、活魚化<25.10～28.9 改革型>
- 84 真鶴(定置)：網設置位置の適正化、新設計網の導入<26.3～29.2 改革型>
- 86 下灘(真珠母貝養殖)：真珠母貝品種絞り込み、共同養殖、母貝大型化等<26.1～28.12 改革型>
- 87 遠洋かつお一本釣り(塩釜・焼津)：共同化、温度帯変更、塩釜基地等<25.12～27.12 マイルド>
- 89 五島(中まき)：会社統合、ミニ船団化、活魚生産等<26.1～28.1 マイルド>
- 93 竹野(定置)：単船揚網体制、箱網の改良、底建網の採用、活魚化等<26.5～29.4 改革型>
- 100 遠洋かつお一本釣り(焼津・御前崎)：599トン船での省コスト操業等<27.10 改革型>〔取り下げ〕
- 101 遠洋まぐる延縄(焼津③)：代替冷媒導入、冷凍機の稼働台数適正化等<27.3～29.2 マイルド>



実証事業終了 87件 (がんばる漁業への移行 11件含む)

(注3)黒数字：実証を終了した計画 (注4)計画概要及び地図はがんばる漁業へ移行した11件を除く。